

上田市スポーツ施設整備計画【要約版】

第1章 計画の概要

1 計画の背景と目的《本編 P1～P2》

国の「スポーツ基本法」、「スポーツ基本計画」、「スポーツ施設のストック適正化ガイドライン(案)」を踏まえ、上田市では、「上田市スポーツ振興計画」、「上田市公共施設マネジメント基本方針」等に基づき、平成29年5月に「上田市スポーツ施設整備基本構想」を策定した。

市民が生涯にわたってスポーツに親しめる環境を確保するため、各施設の整備の方針を明確にする「上田市スポーツ施設整備計画」を策定する。

2 人口動向と将来推計《本編 P3～P4》

過去の国勢調査等から、上田市の人口は、2000年(平成12年)の166,568人をピークに減少しており、2015年から2040年の25年間で33,600人余り減少、12万人余になると見込まれる。

また、2045年には、老年人口割合が4割を超え、超高齢化社会の到来が確実視されている。

3 財政状況と将来推計《本編 P5～P8》

上田市における今後10年間の財政状況推計では、市税については、人口減少等から横ばい若しくは減少傾向にあり、地方交付税等も、減少傾向が避けられない状況である。

歳出については、扶助費が、平成18年度と比較して平成28年度にはほぼ倍増となっており、今後も高齢化の進行などに伴い更なる増加が見込まれている。

今後10年間の歳出に占める義務的経費は増加傾向となり、普通建設事業費の抑制は避けられない状況である。

4 計画の位置付け《本編 P9》

本計画は、第2次上田市総合計画、上田市教育大綱、上田市スポーツ振興計画及び上田市公共施設白書や上田市公共施設マネジメント基本方針に基づき、平成29年5月に策定した「上田市スポーツ施設整備基本構想」を基本方針とした具体的な施設整備計画とした。

併せて、国の関係省庁連絡協議会が示した「インフラ長寿命化基本計画」及び「文部科学省インフラ長寿命化計画」に基づく個別施設計画とした。

5 スポーツ施設の現状と課題《本編 P10～P17》

平成18年3月に4市町村が合併した上田市には、132のスポーツ施設等が設置されている。

また、学校体育施設の開放も進め、体育館・校庭等64施設、年間延べ130万人を超える方々に利用されている。

スポーツ施設の課題として、「施設の老朽化」、「大規模施設の不足と地域ごとの施設配置バランス」、「施設の利用頻度」、「防災施設としての位置付け」、「財政状況への配慮」の5点がある。

6 対象施設の設定《本編 P18～P21》

本計画では、132施設のうち、面数の多いグラウンドを1施設とし、また、キャンプ場やバンガロー等除き、102施設を対象施設とした。

7 計画期間《本編 P22》

本計画の期間は10年とし、必要に応じて見直しを行うこととした。ただし、中・長期的な方針を打ち出す必要を踏まえ、30年先までの個別施設計画をとりまとめた。